

2023 年度 WAVOC 支援ボランティア団体 紹介冊子



WAVOC

早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター



WAVOC へようこそ！

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター（WAVOC）は、ボランティア機会の提供や関連イベントの開催、社会貢献に関する科目の提供、ボランティア活動に従事するプロジェクト・サークルの支援等、様々な活動に取り組んでいます。

本冊子では早稲田大学で活動する多種多様なボランティアプロジェクト・サークルを紹介しています。いずれの団体もウェブサイトや SNS に詳細が掲載されていますので、活動内容、団体の規模、活動頻度など、気になる団体があれば積極的に連絡をとってみてください。それが、あなたの大学生活を変える第一歩になるかもしれません。

早稲田ボランティアプロジェクト

WAVOC の教員それぞれの専門性を活かし、その指導の下、活動する WAVOC 主催プロジェクトです。学生自身が主体性をもって取り組み、成長していくことを教員がサポートします。

学生部公認サークル

本学が定める設立要件を満たした、早稲田大学公認のサークルです。

学生部登録サークル

公認ではありませんが、本学に団体登録、活動の届け出をしているサークルです。

WAVOC はいずれの団体の活動も支援しています。

WAVOC が開催するイベント・スタディツアー情報はメールニュースで配信、または SNS に投稿しています。是非登録、フォローのうえ、活動にご参加ください。



目次

1. 早稲田ボランティアプロジェクト

・企業連携ボランティアプロジェクト	2
・災害ボランティア研究会	2
・ソーシャルビジネス起業プロジェクト	3
・陸前高田プロジェクト	3

2. 学生部公認サークル

・アトム通貨実行委員会 早稲田・高田馬場支部	4
・池袋子ども会	4
・狩り部	5
・環境ロドリゲス	5
・気仙沼チーム	6
・広域 BBS 会	6
・思惟の森の会	7
・児童文化研究会	7
・Ju-Ju〜カンボジア村びと共生プロジェクト〜	8
・新宿子ども会 KIDS	8
・チャータースクールへの教育支援〜ハワイ編〜	9
・農楽塾	9
・POST	10
・まつだい早稲田じよんのびくらぶ	10
・WHABITAT	11
・ロータリーの会	11

3. 学生部登録サークル

・ISHINOMAKI の朝日プロジェクト	12
・学修支援サークル BORDER FREE	12
・学習支援 STEP UP!	13
・学校ボランティアプロジェクト	13
・Grow Seeds Waseda	14
・助走の場・雲	14
・先生のための教育辞典 EDUPEDIA	15
・つぼみプロジェクト	15
・日本教育再興連盟 ROJE	16
・BAM 部	16
・フードグローバルプロジェクト	17
・無国籍ネットワークユース	17

企業連携ボランティアプロジェクト

東日本大震災



企業連携プロジェクトの最大の特徴は、マルイグループと WAVOC が協働で活動を行なっている点です。私たちは、マルイの社員の皆さんと共に社会課題に向き合い、活動する中で「自己理解」や「他者理解」を深めることを目標としています。

年齢も立場も違う多様な視点を持つ人々が、対等な立場で一つの問題に取り組むことで、想像もできなかった化学反応を引き起こします！企業連携プロジェクトのメンバーと取り組むからこそ、社会課題解決のためのアイデアを考案・実践できるばかりでなく、自分自身の成長にもつながること間違いなしです。

◆活動計画

6月：メンバー募集

7～8月：派遣セミナーに向けたグループワーク

9月～11月：ボランティアプロジェクトの準備

12月：ボランティアプロジェクト開催

3月：東北派遣セミナー

※上記の活動計画は、2022年度の活動を参考に作成したものです。活動内容は、毎年度メンバーによる協議の上、決定します。

◆Episode

「企業の方との活動」「自己理解・他者理解」と聞くと、難しそうという印象があるかもしれませんが、ですが、さまざまな人の話に耳を傾け、社会課題について真剣に考えてみたいという意欲があれば大丈夫です！

例えば、2022年度のボランティアプロジェクトでは、学生主体で気仙沼の「ツナ缶」を使った料理企画を行いました。本企画では、メンバー同士で伝えたいことをどう体现するかを何度も議論を重ねて考えました。企業連携プロジェクトでは、時に大人の力を借りつつも、このような学生らしい視点での活動も実現することができます。

問い合わせ先	kigyoudenkei2022@gmail.com
メンバー数	5人
参加費用	なし
活動時期・頻度	毎週木曜日、18:15～20:15 ミーティング (2022年度)

災害ボランティア研究会

災害ボランティア



子どもたちの防災リテラシーを高めるための教育活動に参加してみませんか？このプロジェクトでは、より良い災害ボランティアのあり方について考え、それをもとにキャンパスの近隣や被災地で実践的な活動を行います。

この活動では、地域社会や、行政機関、研究機関など、様々な分野との連携を大切にしています。そのため、児童館や、高齢者のボランティア団体、自治体の職員、早稲田大学外の研究者など様々な人々と協力しながら活動を行います。

「研究者コミュニティに入りたい」

「地域の子どものと交流したい」

「高齢者の知恵を後世に残したい」

このような様々な思いを「防災ボランティア」をキーワードに、みんなで協力して実現していきましょう！

◆活動計画

1. 防災ボランティアの方法についての研究：週1回（オンライン）
2. 『防災絵本』の製作と読み聞かせ：不定期（読み聞かせを行う学生のみ参加）
3. 被災地でのボランティア活動の後方支援：災害発生時（交代制で毎日実施）

週に1回程度オンライン上でミーティングを行い、進行中のプロジェクトの準備をしたり、災害や防災の観点からメンバーの意見を共有したりして活動を進めています。

また、月に1回程度キャンパスにて対面ミーティングをして、メンバー間の親睦を深めています。入会お待ちしております。

問い合わせ先	wavocsaigai@gmail.com
メンバー数	約10人
参加費用	なし
活動時期・頻度	週1回程度



ソーシャルビジネス起業プロジェクト

社会課題解決・ソーシャルビジネス



私たちは、2022 年 4 月に発足した社会課題をビジネスという手法を使って解決する団体です。団体内でビジネスプランのプレゼンをした後、仲間を集めて起業に向けた準備をしたり、月に 1 回ほどゲストを呼んでビジネスプランの壁打ちや講演会を行っています。「ボランティア」では限界があった社会課題を、継続的に解決することを目指した熱い学生がたくさん所属しています！

ソーシャルビジネスや起業に関心がある方は、ぜひソーシャルビジネス起業プロジェクトへ！！

◆活動計画

4 月：新歓活動

5 月～7 月：起業に向けた準備、新しいソーシャルビジネスの計画、ゲスト講演

8 月～9 月：合宿

10 月～1 月：起業に向けた準備、新しいソーシャルビジネスの計画、ゲスト講演

2 月～3 月：合宿、新歓活動準備

◆Episode

社会問題と聞いてまず何を思い浮かべますか？世の中に目を向けると身近な社会問題があふれていることが分かります。ボランティアだけでは、資金面で限界があり、資金が不足すると活動を続けられません。世界中で広がりを見せるソーシャルビジネスは通常のビジネスとは違い、社会問題解決を目的としています。事業活動のために継続的に収益を上げながらも、社会問題を解決することで新たな社会価値を生み出すことができます。

私たちはまずソーシャルビジネスに興味をもってもらい、起業支援の一助となることを目的としています。

問い合わせ先 wavoc.socialbusiness@gmail.com

メンバー数 22 人

参加費用 なし

活動時期・頻度 週 1 回のミーティング



陸前高田プロジェクト

東日本大震災、地域課題



陸前高田から遠く離れた東京の大学生に何ができるだろう。

2011 年、東日本大震災で大きな被害を受けた岩手県陸前高田市。陸前高田に足を運び復興の最前線を体感してみませんか。そして、地元住民の方々や陸前高田に通い続けている方々と協力しながら、自分たちができることに取り組んでいきましょう。

#「ボランティア」や「地域課題」に取り組むなんて、自分には無理…？

…と感じているあなたこそ、このプロジェクトに向いているかもしれません。このプロジェクトでは、復興最前線を体感し地域課題に取り組みながら、人と出会うこと、もやもやと悩んだり考えたりすること、地域と一緒に自分自身もちょっと変わってみることも大切にしていきたいと思っています。今の自分から一歩踏み出してみませんか。

#キーワード

東日本大震災の復興最前線を体感 # 地域課題に取り組む # 今の自分から一歩踏み出す

◆活動計画

4 月～ ミーティング（週 1 回）

8 月～9 月 現地活動

11 月 早稲田祭

12 月 世界子どもの日ユースフェスティバル活動報告

2 月～3 月 現地活動

3 月 ワボプロ報告会

※この計画は予定です。メンバー同士の話し合いで決めていきます。

問い合わせ先 wavocrikupro@gmail.com

参加費用 現地活動 1 回あたり 6 万円程度

活動時期・頻度 現地活動（長期休暇中、年 2 回）、
ミーティング（通年、週 1 回。試験前、長期休みを除く。
原則として対面で実施します）



アトム通貨実行委員会 早稲田・高田馬場支部

地域活性化・環境・教育・国際協力



アトム通貨は早稲田・高田馬場の更なる活性化のために生まれた地域通貨で、早稲田大学の学生が運営しています。アトム通貨は早稲田・高田馬場にある約 130 の加盟店で使用できます。イベントを実施し、「社会貢献活動（イイコト）」をしてくれた参加者にお礼として通貨をプレゼントしています。また、地域のイベントでも企画出展をして通貨を配布しています。

地域の人や他の地域サークルの人たちと深い関わりを築くことができ、普通の大学生とは少し違う充実した大学生活を送れるはずで。早稲田のまちを舞台に自分のやりたいことを形にしてみませんか？ぜひ早稲田を第二の故郷に！

◆活動計画

4月 オープニングイベント 5月 クリーン大作戦 6月 クリーン大作戦
7月 打ち水大作戦 8月 夏合宿 9月 地球感謝祭 11月 早稲田祭
など年間を通して早稲田・高田馬場の街を舞台に様々なイベントの実施、参加をしています。

◆Episode アトムと一緒にまちへ出よう

アトム通貨の強みは早稲田のまちを舞台に大きく活躍できることです。大学生だけではできないイベントでも商店会をはじめとした地域の方々の協力の下、たくさんのイベントを成し遂げてきました。アトム通貨には商店会の方々の中に完全に溶け込んでいる人や地域の方々から親しまれている人など様々なメンバーがあり、誰もが各々の強みを生かして活躍できる環境が整っています。

まちづくりや地域に興味のある人、イベントの企画や運営をしたい人、真剣に物事に取り組む人、多様なスキルを身につけたい人といった様々な人が集まっているので刺激を受けることができます。

問い合わせ先 atom.c.wt@gmail.com

メンバー数 14 人

参加費用 なし

活動時期・頻度 週 1 回のミーティングと月 1～2 回のイベント



池袋子ども会

教育・地域交流



私たち池袋子ども会は、毎週日曜日の午前中に豊島区の小学校で子どもたちと触れ合い、木曜日には季節のイベントの企画等を学生で話し合います。当会の絶対の目標は、子どもに普段できない体験を味わわせることです。子どもにとって、かけがえのないものとは何なのか。目線を合わせて考えるのは少し難しいですが、彼らが見せてくれる、太陽のようにまぶしい笑顔は、私たちの思い出になります。

サークルの雰囲気は、ゆったりとしており、学生にとつての温かい居場所でもあります。「子どもが好き」が入会条件です。

◆活動計画

4月：新歓、5月：春のハイキング、8月：キャンプ、9月：花火会・学生合宿、
10月：秋のハイキング、12月：風の子まつり・クリスマス会、2～3月：卒業ハイキング・
卒業イベント・学生合宿（その他イベント多数）

◆Episode

私自身、保育士を目指していた時期もあり、子どもと遊べるサークルがあると聞いた時は素直に「楽しそう！ 入りたい！」と思いました。しかし池袋子ども会は東京家政大学との合同サークルで、東京家政大学には子どもに関する学部学科も多いことから、早稲田生は入りにくいのではないかなと思っていました。

しかし、結論から言えば全く心配することはありませんでした。子どもと関わる上で必要なことは先輩方が丁寧にサポートしてくれましたし、活動の中で少しずつ慣れてきました。何より子どもたちは本当に可愛いので、その気持ちだけで十分やっていけると思います！ 皆様ぜひお待ちしております！！

問い合わせ先 ikbkr2023@gmail.com

メンバー数 58 人

参加費用 5,000 円

活動時期・頻度 毎週木曜日の夜・日曜日の午前中

Twitter、Instagram とともに「ikbkr2023」、池袋子ども会 新歓 2023

Twitter : <https://twitter.com/ikbkr2023>

Instagram : <https://www.instagram.com/ikbkr2023/>



狩り部

環境・狩猟・獣害問題



私たち「狩り部」は「獣害」という地方での深刻な問題の対策のお手伝いをするボランティアサークルです。月に一回程度、千葉県鴨川などに赴き、猟師さんのお手伝いや獣害対策の仕事などを行っています。現地では自分たちで捌いた「ジビエ」を食べることもできます！他にも猟師さんからいただいた肉でジビエ料理会を開いたり、プロの猟師さんからお話をいただいたりしています。

一昨年から獣害対策ロボットを自分たちで作るプロジェクトも開始しました。狩り部でしかできない体験、してみませんか？

◆活動計画

4~6月 新入生歓迎会兼勉強会、8月 夏休み現地活動、9月~10月 早稲田祭に向けた製作、12月 冬休み現地活動、2月~3月 春休み現地活動

*試験前、長期休みを除き基本的に週1回ミーティング

◆Episode 百聞は一見に如かず

「獣害問題」や「里山の過疎化」という言葉は多くの人が知っていると思います。私もニュースで耳にして知った気になっていました。しかし、初めて現地活動をした際に見た広大な耕作放棄地、放置され骨が見えるまで飢えた家畜に衝撃を受けました。如何に自分の視野が狭く、表面上の知識だけで片付けていたことを痛感しました。

だからこそ、ここで終わらせてはいけません。私たちは狩猟経験者ではなく、学生だからこそできることが沢山あります。各々が持つ個性を最大限に活かせる環境が狩り部にはあると考えています。

問い合わせ先 wasedakaribu@gmail.com
メンバー数 36人
参加費用 年会費 2,000円
現地活動費 5,000円
活動時期・頻度 週1回のミーティング、2ヶ月に1回を目安に現地活動



早稲田大学学生環境 NPO 環境ロドリゲス

環境・教育・地域活性



私達環境ロドリゲスは「学生が主体となって、多様なアプローチから環境問題の解決に貢献する」を理念として活動し、今年で26年目となる環境ボランティアサークルです。環境ロドリゲスの特徴は、「環境×○○」というテーマごとに分かれて活動していることです。現在は「里山」「海」「早稲田」「地域活性」「教育」「商品開発」という6つの企画が活動しており、自分の興味のある分野で、学生ならではの目線で環境問題と向き合うことができます。

環境問題に関心がある方も、何か新しいことを始めたいと思っている方も、環境ロドリゲスで楽しくボランティアを始めてみませんか？

◆活動計画

4,5月：新歓、レレレ隊(新歓ビラ回収)、新歓合宿、新歓遠足

6,7月：試験期間、早慶サッカー(ゴミ分別指導)

8,9月：鯖江訪問、東北訪問、佐渡旅、出前授業(小学生向け環境教育)、地球感謝祭

10,11月：稲門祭、早稲田祭、理工展、秋合宿、鹿野山訪問、西早稲田こども天国

12,1月：総会、勇退会、エココン、試験期間

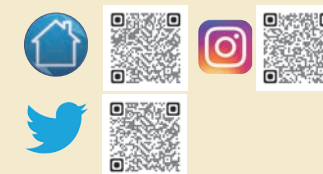
2,3月：出前授業、鯖江訪問、春合宿、追いコン

◆Episode ボランティアを通じて知ったこと

環境ロドリゲスは今まで、ゴミの分別指導や商品開発、環境教育イベント、さらには里山・地域訪問のように、「人とのつながり」を大切にしながら、実践的な活動を幅広く行ってきました。昨今のコロナ禍により対面での活動が減ってしまった時期もありますが、それでも「人とのつながり」は途切れることなく、日々楽しく様々な取り組みを行っています。また、メンバーが個人的に海でゴミ拾いをしたり、出かける際はエコバッグを持参したりと、一人ひとりが環境問題をより身近に感じることができています。

環境ロドリゲスでの活動を通じて、このような「日常の小さなこと」にも気づいて行動してみることの大切さを学ぶことができました。

問い合わせ先 rodo_contact@yahoo.co.jp
メンバー数 53人
参加費用 2,000円/半年
活動時期・頻度 通年(試験期間にあたる7月・1月を除く)・1企画当たり週1回(複数企画掛け持ち可能)



早稲田大学気仙沼チーム

地域交流・地方創生・東日本大震災復興支援



私たちは東日本大震災直後の早稲田大学と宮城県気仙沼市のつながりから発足し、以来、継続的に復興支援活動に取り組んできました。仮設住宅や災害公営住宅での交流会、気仙沼訪問時の公募参加者へのスタディツアー実施のほか、東京で開催されるイベントへも参加しています。

2022 年度は、8 月のみなとまつり便をはじめとした、現地でのボランティア活動も本格的に再開しました。活動の幅は広く、イベント運営のボランティアから学習支援と、様々な方との出会いがあります。東日本大震災から 10 年を迎え、震災当時の姿だけでなく現在の魅力も発信することで、気仙沼がより活気溢れる元気な街になるよう復興支援を行っています。

◆活動計画

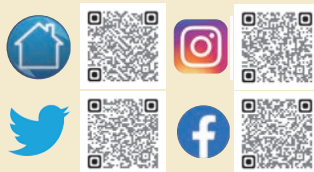
4 月：新歓活動 5 月：新入生歓迎イベント 8 月：みなとまつり便 9 月～11 月：東京でのイベント運営ボランティア 3 月：スタディツアー、東日本大震災追悼企画（予定）
そのほか 2・3 ヶ月に 1 回程度、現地訪問を行います。

◆Episode

気仙沼を支える人との出会いが、私たちの活動の原動力になる。早朝、まだ少し更地の目立つ魚市場前にボツと、できたばかりの食堂と銭湯を見つけた。初めて来た私たちも「早稲田の気仙沼チームか！毎年お祭りの手伝いとかありがとね」と笑顔で迎え入れてくれた。「防潮堤建設で失った銭湯を漁師さんのために復活させたくてね」しみじみと女将さんは語る。昔から行き交う人々を大切にしてきた港だから、垣根のない優しい人たちが溢れているんだと実感した。

この街の復興の無限大の可能性と魅力は人にある。こうした幾つもの「出会い」と「ご縁」に感謝し、「ご縁」を繋ぐことで、ささやかながら気仙沼をより元気にするお手伝いをしていきたい。

問い合わせ先 kpjt2011@gmail.com
メンバー数 26 人
参加費用 会費：なし（2023 年度予定）
現地活動：随時
活動時期・頻度 二・三か月に一度の気仙沼訪問
その他月に 2 回程度ミーティング



早稲田大学広域 BBS 会

人権・教育・学習支援



法務省保護局更生保護協力団体。非行や不登校、虐待など、保護観察中の青少年女様々な生きづらさを抱えた子どもたちに対し、お兄さん・お姉さんの立場で接するボランティア。先生でもなければ親でもない、支援臭のないロールモデルとなることが目的です。同世代であることを生かし、同じ目線で子ども達に寄り添い、話し相手になったり、遊んだりします。

また、施設見学や研修会など、年間スケジュールに記載のない単発のイベントもあり、自分のペースで活動が続けられるのも魅力の 1 つです。最近では子ども食堂での学習支援など、活動の幅を広げています。ぜひ、BBS で一緒に活動してみませんか？

◆活動計画

6 月 初夏のグループワーク、「社会を明るくする運動」広報パレード・式典
7 月 BBS 新会員研修会
8 月 納涼祭（一時保護所）、お楽しみ会（養育家庭）、後期総会、夏合宿
10 月 秋のグループワーク
11 月 市原学園（少年院）交流会、OBOG 会
12 月 早稲田矯正保護展、クリスマス会（一時保護所）、合唱ボランティア（誠明学園）
3 月 春合宿、前期総会
（ただし、コロナでオンラインまたは中止、延期になっているイベントあり）

◆Episode 「ナナメの関係」だからこそできること

私は、児童福祉施設で子どもたちと関わる活動を行ってきました。ある子が、授業後に「大学生って楽しい？」と尋ねてくれました。私が勉強していることや興味があること、大学生はどんな生活をしているのか、などを話すと、そんな世界もあるのか！と感動した様子でした。施設にいても、色々な考えに触れて欲しい。そんな思いで、先生でも職員でも親でもない関係、「ナナメの関係」だからこそできることをやっていきたいと思います。

問い合わせ先 w_bbs@yahoo.co.jp
メンバー数 116 人
参加費用 年 5,000 円
活動時期・頻度 不定期・随時



思惟の森の会

環境・農業・地域交流



思惟の森の会では、主に田野畑村で農業、林業、漁業、地域交流などを行っています。村には早稲田大学の寮も設置されており、長期休暇にはそこに泊まり込み、村内にある3つの山の手入れをするだけでなく、村の方々のお手伝いとして農業や漁業に携わっています。ボランティア活動という意識だけでなく自身も活動を楽しむ意識があり、現在は森を使って子どもたちに新しい遊び場を提供する「プレイパーク」の計画も進行中です。合宿中は釜でお米を炊き、村の方からいただいた食材を用いて自炊するので、合宿所での生活も楽しみの一つです。

◆活動計画

春休み（2月～3月）：挨拶回り ゴールデンウィーク：新歓合宿（田野畑村）
5月～6月：春季草刈り（東伏見キャンパス） 夏休み（8月～9月）：夏合宿
10～11月：秋季草刈り（東伏見キャンパス） 10月末頃：稲門祭
早稲田祭期間：秋合宿

◆Episode「最高の瞬間」

田野畑村ではよく農作業のお手伝いに行きます。農家さんのお手伝いと言えば収穫を思い浮かべる方が多いかもしれませんが、実際は草むしりや無駄な葉の除去といった地味な作業が多く、お手伝いも大変です。しかし体験することで初めて、農家さんの実態と食の大切さを学ぶことができます。

日本では形の悪い野菜は販売されず捨てられてしまうことが多いですが、お手伝いに行くとこの野菜やご厚意によって自家栽培の食材を頂くことができます。頂いた食材で作ったご飯をメンバーで囲んで食べる時間は最高です。僕にとって田野畑村とは、人の温かさ、食のありがたみを教えてくれる大切な場所です。

問い合わせ先 mori.waseda@gmail.com
メンバー数 26人
参加費用 合宿参加のため諸経費（交通費、生活費等）（入会費・年会費0円）
活動時期・頻度 主に長期休暇期間に活動します。月に一回程度ミーティングがあります。



早稲田大学児童文化研究会

地域児童ボランティア



70年以上の歴史を持つ、早稲田の児童ボランティアサークルです。都内のいくつかの児童館から依頼を受け、毎週、児童館へ来る子どもたちと遊ぶボランティアを行っています。ほかにサークル全体として人形劇の製作、公演も行っています。児童館、図書館、保育園などで披露するために、1年のあいだに3つの新作を準備します。台本や人形、小道具などすべて手作りです。

自分の都合に合わせてボランティアや人形劇の活動が行えます。子どもが好きな方、人形劇に興味がある方、何か新しいことを始めたい方、ぜひ一度見学にいらしてください！

◆活動計画

4～5月…新歓、春の人形劇公演 7～9月…夏の人形劇 8月…夏合宿（去年はなし）
11月…早稲田祭での人形劇公演（去年はなし） 12～2月…冬の人形劇

◆Episode

サークルに入って、児童ボランティアの「やりがい」は？と訊かれる機会があります。その度に返答に困る自分がいました。子どもたちと遊ぶことは、準備も含めて、何よりも楽しいことだったからです。サークルのみんなで作りあげた劇を見て子どもたちが歓声を上げてくれるのがうれしくて、子どもに何かを与えようという気持ちは正直ありません。むしろ子どもたちから影響を受けていることが多い気がします。

ただ、僕たちが子どもたちとの出会いを楽しんでいるということが、子どもたちに伝わって、何かの影響を残せているのかも、と思うときがあります。それが「やりがい」なのだと思います。

問い合わせ先 jikenwaseda@gmail.com
メンバー数 20人
参加費用 なし
活動時期・頻度 一年中、週一回のミーティング



Ju-Ju〜カンボジア村びと共生プロジェクト〜

国際・地域交流



Ju-Ju はカンボジアのサンボー・プレイ・クックという遺跡をフィールドに活動をしている学生団体である。現在、サンボー地域では年々観光客が増えていて、地域自体が変化の只中にある。私たちは年に2回渡航し、さまざまな形で活動を展開している。

2023年2月には、3年ぶりの渡航を実施した。実績としては、以下の3つのことを行った。1つは、現地の高校生と共に、カンボジアやサンボー村について、写真や動画にまとめた活動である。もう1つは、現地のフリースクールの子どもたちと、英語教室を開催したり、日本の遊びを楽しんだりして、交流を行ったことである。最後に、初めての試みとして、カンボジアのユネスコ国内委員会の方と連携し、ゴミ収集のプロジェクトに参加させて頂いた。最後のプロジェクトについては、今後新たな形で協力も模索している。

◆活動計画

4～8月渡航準備（週1回）、夏渡航（約2週間）、10～2月渡航準備（週1回）、春渡航（約2週間）

◆Episode

皆さんはカンボジアと聞いて何を連想しますか？多くの方々が「貧困」か「アンコールワット」をすぐに思い浮かべると思います。しかし、日本＝侍だ！と海外の方が思い込んでいるのと同様で、往々にしてそのようなイメージと現実とは完全に一致はしません。

Ju-Ju では年2回の渡航で現地の高校やフリースクールとの交流活動、また世界遺産であるサンボー・プレイ・クック遺跡とその周辺地域の環境保全ボランティアを行なっています。それ以外にも、世界遺産巡りやナイトマーケット観光などたくさんのアクティビティも行います。

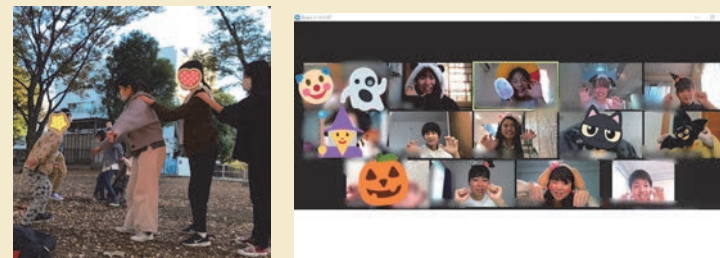
楽しい「アクティビティ」「交流」、そして「ボランティア」を通じて新しいカンボジアを発見しませんか？

問い合わせ先 jujusp3@gmail.com
メンバー数 9人
参加費用 1渡航 12～15万円
活動時期・頻度 夏休み・春休み（渡航参加は任意）



新宿子ども会 KIDS

教育



1982年から続く早稲田の公認サークルです。毎週土曜日に戸山公園近くの集会室を借りて、特別支援学級に通う子供たちと楽しく遊んでいます。毎週土曜日の活動では2、3人の学生を中心に活動のテーマを決め、子供と学生が楽しめる工作と集団遊びを準備します。

活動の後には反省会を行い、子供や学生の良かった点や気を付けるべき点を確認します。コロナ禍に際して、対面活動とオンライン活動を行なっています。子供たちとの触れ合いに難しい知識は必要ありません。ご連絡をお待ちしております。

◆活動計画

4月：新歓活動 6月：春遠足 8月：サマーキャンプ 9月：学生合宿
10月：秋遠足 12月：クリスマス会 2月：調理実習 3月：卒業式、追いコン
（変更になる場合もございます。）
他にも学生だけのレクリエーション活動も充実しています！

◆Episode 大学生生活の不安を解消できた場所

新宿子ども会 KIDS では時期に合わせてオンラインと対面で活動を行なっています。私が入会した時は完全オンラインで、右も左も分からず、しかも慣れない環境で不安しかありませんでした。ですが、触れ合うきっかけを設けてくれる先輩たちと元気に自分の呼びかけに反応してくれる子どもたちと遊べば、スッと気が楽になりました。

この子ども会の和やかな雰囲気がとても居心地が良くて好きです。オンラインでも対面でも温かな空気感のサークルが大学の癒しの場となっています。

問い合わせ先 shinjukukids@gmail.com
メンバー数 40人
参加費用 前期及び後期 4,000円ずつ
（入会から半期は不要）
活動時期・頻度 毎週土曜日



チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～

環境・教育・地域交流・国際



私たち、「チャータースクールへの教育支援～ハワイ編～」、通称 HawaiiPJ は、早稲田大学 平山郁夫記念ボランティアセンター(WAVOC)から生まれた、早稲田大学公認サークルです。アメリカ合衆国ハワイ州ハワイ島のボルケーノ村にあるチャータースクール、“The Volcano School of Arts and Sciences (VSAS)”で、毎年春休み中の2月と夏休み中の8月下旬から9月上旬にかけて2週間、学生チームが現地に渡航し、日本文化教育支援や文化交流を行っています。

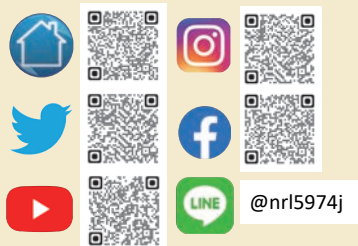
◆活動計画

年に2回の渡航、チームごとの定期的なミーティング、勉強会(ゲストを招くこともある)、ボランティアプレゼンコンテスト・ボラカフェへの参加、現地の学校への日本文化動画の作成・Google classroom を用いたオンライン授業、早稲田祭の企画展示

◆Episode

HawaiiPJ の特徴はメンバー間の仲の良さとな活動を実現できる柔軟さにあります。昨年の夏に約2年ぶりにVSASへ渡航を行うことができました。渡航メンバーとはもちろん、それ以外の先輩や後輩とも活動を通して仲を深めることが出来ます。早稲田祭では渡航で行った授業やボランティアについて考えるワークショップを行いました。気さくで優しく、頼もしい人が多く、オンラインと対面のハイブリット形式で行ったOBOG現役交流会ではHawaiiPJの歴史を感じられるような充実した機会となりました。グループでのオンライン会議はアイデアの源となっています。

問い合わせ先 hawaii.pj.aloha@gmail.com
メンバー数 30人
参加費用 年会費：2,000円、
渡航費：40万
活動時期・頻度 夏(8月下旬～9月上旬)と
春(2月下旬～3月上旬)



早稲田大学 農楽塾

農業・地域交流



平日は晴れた日のお昼、2限と3限の間にシフト制で集まり、大隈庭園内の田んぼ「わせでん」と菜園の管理を行っています。水やりや成長記録が終わった後は、3限が空いているメンバーでご飯に行くこともあります。土日や長期休み期間には農家さんに訪問して農業体験を行っています。訪問する場所は神奈川や茨城、埼玉など関東近郊で、作業の後には採れた作物を使ったおいしいご飯を頂くこともあります。また、地域にまつわるボランティア活動として、援農ボランティアだけでなく、子供への自然教育や、里山の景観保全、新宿名産の野菜のPR活動など多様な活動を行っています。

◆活動計画

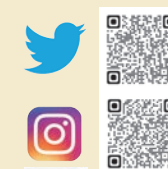
4月 新歓、田起こし、代かき、野菜栽培(通年)
5月 田植え(幼稚園・ステップ学級合同企画)
6月 ザリガニ釣り(幼稚園・ステップ学級合同企画) 内藤とうがらし定植
7月 ネット張りのーじゅく食堂 8月 合宿* 9月 内藤とうがらし収穫祭
10月 稲刈り(幼稚園・ステップ学級合同企画) 11月 稲の脱穀、収穫祭
2月 寒起こし、土作り 3月 合宿*

農家訪問、果物狩りなど、その他企画随時開催 / *印は2019年度以前の活動実績

◆Episode

「早稲田“なのに、なぜ”田”んぼがないのか？」この素朴な疑問から、私たち農楽塾は発足しました。そうして誕生した大隈庭園にある早稲田の「わせでん」を中心に幅広く活動してきました。発足から20年たった農楽塾はわせでんでの稲作に加え、様々な活動を行ってきました。早稲田キャンパス南門で行っているバケツ稲の栽培は一般認知度も高く、南門のいち風景として馴染んできています。内藤とうがらしプロジェクトでは、東京都や複数の学校とチームを作り、絶滅しかけていた江戸野菜の復興に力を入れてきました。昨年度からは留学生の受け入れを開始し、年齢や言語、背景や職業も違う多様な人と農業を通じて交流することができます。「農を楽しむ、農を考える」のモットーをもとに、これからも活動を続けていきたいと思っています。

問い合わせ先 nogakujuku@yahoo.co.jp
メンバー数 80人
参加費用 通年3,000円
活動時期・頻度 通年 活動日は、月曜日～金曜日の昼休みと、土日に各種農業体験、ボランティア



早稲田大学 POST

地域交流・農業



「ボランティアしてみたいけど、具体的に何がしたいかわからない…」 「いろんなボランティアに挑戦してみたい」 などなど考え中のそこのあなた！ そんなあなたには POST がオススメ！ POST に入るとボランティアを通して、下は小学生から上は 90 近くのおじいちゃんおばあちゃんまで幅広い世代の方達と交流できます。

さらに、夏休みには農業体験をすることもできます！ 飲み会をしたり、ディズニーに行ったり、春合宿をするなどの遊びも充実！ 雰囲気の良いはボランティアサークルの中で一番の自信アリ！ ぜひ見学にいらしてください！

◆活動計画

毎週木曜 18:50~20:00 もしくは 21:00~22:30：ミーティング（対面とオンライン併用）

毎月第 2 日曜日：高齢者との交流会(サロン)

放課後等デイサービスでのボランティア（任意）

夏休み：農業体験 春休み：春合宿など

◆Episode つながりは逆境を乗り越える力になる

世界的なパンデミックにより、人とのつながりが希薄化してしまった今だからこそ、かつては見えてこなかったつながり方やその重要性を私たちは知ることになりました。日常にあるつながりを大切にすることで、自分から外に働きかけることで人とつながることの温かさを実感できる、そんな体験ができるのが早稲田大学 POST です。

ボランティアは決して一方通行ではなく、双方向の人とのつながりであり、それを通じて相手を受け入れ、同じ空間に共にいることに喜びを感じることができます。団体で活動するからこそ生まれる人とのつながりを大切に私たちはボランティアをしています。

問い合わせ先 wasedapost.shinkan@gmail.com

メンバー数 18 人

参加費用 年会費 1,000 円

活動時期・頻度 ミーティング：週 1 回

地域の高齢者との交流：月 1 回

学童のお手伝い：任意



まつだい早稲田じよんのびクラブ

教育・地域交流



じよんのびクラブは、新潟県十日町市松代・蒲生地域で教育支援や地域交流をするボランティアサークルです。じよんのびクラブの他のサークルと大きく異なる点が、現地活動の数です。約 1 ヶ月に一度、現地を訪れていて、地元の子供達やお年寄りや深く関わることができ、いつも元気を貰っています。また、十日町市役所の方にも全面的に協力して頂いていて、とてもアットホームな環境です。

ボランティアというよりは、地元の方と一緒に楽しく過ごすことを重視して活動しています。メンバー同士は、人数が少ないこともあってとても仲が良いです。

◆活動計画

5 月 道普請・山菜採 6 月 新歓合宿 8 月 松代塾ジュニア（10 日程度）

9 月 秋祭り手伝い 10 月 よさこい祭り手伝い 2 月 雪国体験プロジェクト（一週間）

山菜採りは、収穫した後に地元のおばあちゃんが美味しい山菜料理に変身させてくれます。また、お祭りではラーメンの出店を手伝ったりもしています。特に、じよんのびクラブの二大プロジェクトが 8 月の松代塾ジュニアと 2 月の雪国体験です。松代塾ジュニアは、午前中に地元の小中高生に勉強を教え、午後は BBQ や花火、川遊びなど楽しい企画が盛りだくさんです。2 月の雪国体験は、雪かきのお手伝いをメインに民泊や温泉に浸かったり！

喧騒とした都会から離れて、一緒にゆっくり過ごしてみませんか？

◆Episode 人の温かさにつれて

自然豊かな地域でボランティアすることに魅力を感じ、何気なくサークルに入ったのがきっかけでした。ボランティアは自分たちが進んで社会活動に無償で参加する人という意味があります。しかし、実際に現地で活動をしていく中で、私たちが与えるだけでなくむしろ現地の人々から与えられるものの方が多いと感じました。私たちが現地に赴くと、子どもたちから高齢者の方までとても喜んで迎え入れてくれ、家族のように接してくれます。現地の人たちの温かさ感謝の気持ちでいっぱいです。

私にとって松代はもう一つの故郷ともいえる場所です。現在大変な状況で活動に行けない日々が続いていますが、今できることを考え、活動していきたいと思っています。

問い合わせ先 jonnnobiclub@gmail.com

メンバー数 17 人

参加費用 各現地活動につき 4,000 円程度

活動時期・頻度 現地活動：月に一度

ミーティング：週に一度



WHABITAT

国際・住居支援・農業



WHABITAT は、主に東南アジアなど貧困地域での住居支援を行う国際 NGO 団体『Habitat for Humanity Japan』の学生支部です。毎週水曜日に国内外の社会問題について学ぶミーティングを行うほか、不定期の国内ボランティア、春夏休業期間には長期プロジェクトのボランティアを行っています。コロナ禍で制限がありましたが、現在は状況も改善し本年から海外での建築ボランティアも再開したり、合宿ができるようになったりと、活動の幅は広がりました。またボランティア以外にも、定期的なレクやイベントを行っています。時に真面目に、遊ぶときは全力で楽しむサークルです！

◆活動計画

4 月 新歓イベント、レク、国内ボランティア 5 月 新歓イベント、国内ボランティア、新歓合宿
6 月 国内ボランティア、レク、早慶戦観戦、1-4 年会 8 月 国内ボランティア、長期ボランティア、レク、納会、夏合宿、海外住居建築ボランティア (GV) 9 月 国内ボランティア、長期ボランティア、レク、海外住居建築ボランティア (GV) 10 月 国内ボランティア 11 月 レク、引退式、早稲田祭 12 月 クリスマスパティー 1 月 新年会 2 月 国内ボランティア、冬合宿、海外住居建築ボランティア (GV) 3 月 国内ボランティア、海外住居建築ボランティア (GV) + 毎週水曜日、大学付近でのミーティング (長期休み期間は不定期)

◆Episode 『「できること」を考える』

入学以来、コロナの影響で思うように活動できないことにもどかしさを感じていました。そんな中、2 年生の夏休みにサークルで国内でのチーム活動を行いました。コロナ禍の今、自分たちができることって何だろう？をテーマにたくさん話し合いを重ねることで、自分が「できない」に注目し視野が狭くなっていることに気が付きました。最終的には SNS を活用しながらインターネット上での募金活動を行い、仲間の協力もあり、結果として目標金額を超える寄付を集めることができました。

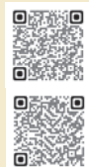
この経験を通し、どんな状況であっても、広く世界を見渡せば、新たな可能性を発見することができる、ということを知りました。それ以降は、一歩下がったところから「できる」に注目するようになりました。現在では制限も外れ始めています、「できる」ことは増えているからこそ、この成長を忘れないようにしたいと思います。

問い合わせ先 whabitat.mail@gmail.com

メンバー数 86 人

参加費用 3,000 円

活動時期・頻度 毎週水曜日のミーティング(基本対面)、
不定期ボランティア、レクリエーション



ロータリーの会

環境・教育・地域交流・国際



ロータリーの会は高田馬場駅前ロータリーのゴミ放置問題の解決を目的に、日々様々な企画を考案・実行しています。高田馬場駅前ロータリーは早大生にとって身近で、長年に渡って愛されてきた場所です。しかし、そのロータリーをまるで自分たちだけのものかのように利用し、ゴミを残してしまう「伝統」が続いてしまっています。もちろん、そうした人は早大生の一部であり、ロータリーを汚しているのも早大生だけではありません。その分、壁は大きく、一朝一夕で解決しない問題であることは事実です。

しかし、だからと言ってこの問題から目を背けて良い理由にはなり得ません。例えどれほどの月日がかかろうとも、高田馬場という街に直接関わる私たち早大生一人ひとりが関心を持ち、真摯に対峙し続けるべき問題であると当会は考えています。一人の早大生として、ぜひあなたの力を貸してください。

◆活動計画

随時

◆Episode ボランティアを通じて知ったこと -「拾う人」の存在で成り立っている街-

高田馬場駅前ロータリーには多種多様な人が集まる。出勤前に一服する社会人、待ち合わせ場所として利用する若者、路上パフォーマンスをする者や路上生活者もいる。夜に近づくにつれ、学生を中心に賑わう光景は見慣れたものだ。そして、日付が変わる頃には目を覆いたくなるほどの、無数の散乱ゴミで荒れ果ててしまっている。しかし、スーツを着たサラリーマンたちが午前 9 時前、喫煙所に集まる頃には、ほとんどゴミが残されていない。一体誰が、いつ綺麗にしているのだろうか。あれほどの量のゴミを何人で、どれくらいの時間をかけて片付けているのか。清掃しているのは地域のボランティアの方なのだろうか。様々な思考を巡らしながら始発の電車に乗り、この目で確かめに行った。

午前 8 時過ぎ、大きなゴミ箱を載せた台車を運びながら清掃している 2 人の姿が見えた。拾っていたのは、「関係ない」はずの年配者だった。

問い合わせ先 rotary.waseda1920@gmail.com

メンバー数 45 人

参加費用 なし

活動時期・頻度 毎週月曜日～金曜日、随時



ISHINOMAKI の朝日プロジェクト

防災・教育・ビジネス



私たちの団体は、2019 年に発足した新しい団体で、「防災×教育×ビジネス」に関する活動をするボランティアサークルです！現在は 20 名のメンバーでオンライン中心に活動しています。メンバー全員が活動に積極的に参加しており、先輩後輩関係なく日頃から活発な議論が行われています。

メインイベントの一つである、中学生向け防災ビジネスプラン発表会では、活動を通して中学生の成長を感じることができます。防災について深く考えたり、大学生と交流したりすることで、自らの成長にもつながります。

◆活動計画

春学期 学生向けの進路相談企画

9 月 東北合宿

秋学期 中学生向け防災ビジネスプラン発表会にボランティアとして参加

◆Episode

2022 年の 9 月、高校生向けのキャリア相談会を行いました。「偏差値だけでなく、自分の興味関心から進路を選んでも良い」という目的を設定し、企画を完成させました。群馬県の前橋女子高校に赴き、対面で相談会を行いました。想像以上に盛り上がり、制限時間ギリギリまで交流が続きました。100 人近い高校生が参加し、そのうち 9 割以上の生徒から「企画に対してとても満足だ」という回答を得られました。この企画は 1 年に 1~2 回行う恒例企画として根付かせるため、来年度も行う予定です。

問い合わせ先 ishinomaki.asapuro@gmail.com

メンバー数 20 人

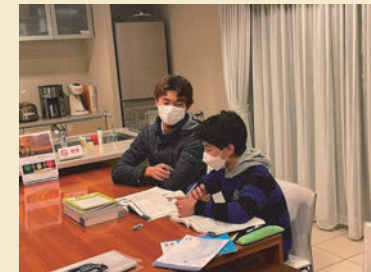
参加費用 入会費 3,000 円

活動時期・頻度 週に一度のミーティング（時期によって変動）



学習支援サークル BORDER FREE

教育



私たち BF の理念は“教育格差の是正”です。そのため、理念に大きく外れてさえないなければ、誰もがやりたいことが出来ます！今年度は、新たに早稲田大学を会場にした学習支援を予定しており、これは全国で初めての大学を会場にした学習支援の試みとなります。他にも、子どもたちの夢やあこがれと一緒に考えるイベントや、群馬県の子どもたちにオンラインで学習支援を実施するなど様々な角度から子どもたちに向き合っていきます。

普段は週 1 回の MTG を実施しており、ボランティアサイドとビジネスサイドの両面から熱い議論を繰り上げています!(^^)!

◆活動計画

4 月 新メンバー入会

6 月~ キャリア教育イベント毎月開催

8 月 夏合宿（予定）

9 月~ 早稲田大学での学習支援スタート（毎週開催）

◆Episode

BF は様々な活動をしているため、色々な人がいます。例えば、子ども大好きウーマンや団体経営やりたいマンもいます。中にはインターン辞めて BF に参加した猛者もいます！笑

そのため、昨年は国会で官僚の方と意見交換したり、クラファンで 40 万円を集めて新聞に取り上げられたり、IT 企業と共同でプロジェクト開発をしたりと、なんだかよくわからないこともやったりしています。

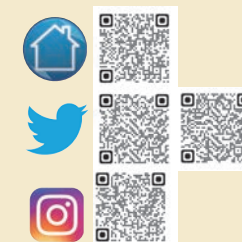
ただ、「子どもたちの笑顔を増やしたい」という思いは共通しており、だからこそどんな人でも活躍でき、お互いを認め合える環境が BF の一番の魅力です！

問い合わせ先 border.free.2021@gmail.com

メンバー数 41 人

参加費用 なし

活動時期・頻度 通年（週に一度の対面 MTG があります）



学習支援 STEP UP !

教育



皆さんは、「教育格差」という言葉を知っていますか？「教育格差」とは、「生まれ育った環境により、受けることのできる教育に格差が生じる問題」のことです。私たちは、この問題に向き合うべく、経済的な事情によって塾に通いたくても通うことができない小・中学生を対象に、無料で勉強を教えています。勉強を通じて、生徒の将来を真剣に考え、生徒と講師が互いに学び合うことができます。

また、大学生だけでなく高校生や社会人も講師ボランティアとして活動に参加しているため、幅広い交流ができることも魅力の一つです。

◆活動計画

4月～7月：通常塾（前期）

8月：夏季講習

9月～2月：通常塾（後期）

◆Episode

私たちの活動は、子どもたちに単に「勉強を教える」ことだけではありません。生徒・講師間で頑張ったことや嬉しかったことをシェアし、互いを褒め合うワークショップや、オンラインイベントの企画・運営、そして、授業前後の子どもたちとの何気ないやり取りにも全力で取り組んでいます。子どもたちの心に親身に寄り添うことで、彼らが自分に自信を持ち、自他を共に大切にすることを育むことができるよう、サポートに努めています。講師とのやり取りに最初は緊張している子どもでも、じつと同じ時間を共有することで、徐々に心を開いてくれます。

学校での様々な出来事を教えてくれる子どもたち。講師にも自然と笑顔が溢れます。

問い合わせ先 stepupgakusyu@gmail.com

メンバー数 70人

参加費用 年会費 1,000円

活動時期・頻度 毎週土曜日 15:30～18:30



学校ボランティアプロジェクト

教育



「子どもの『できる』を増やし、成長を支援する」という理念を掲げ、提携している都内の公立小中学校に大学生をボランティアとして派遣しています。ボランティアは教室に入り、授業中はクラス全体を見て個別に声かけを行ったり、ある特定の子に付き添ってサポートを行ったりします。休み時間は一緒に遊び、給食も一緒に食べます。その時に子供たちとお話したりすることもできます。これらの活動を通して子どもたちとの関係を深めていきます。私たちは子ども1人1人に向き合い、学習面・生活面での日々の成長を後押しします。

◆活動計画

通年：学校でのボランティア活動（週1回）

4月～5月：春のボランティア説明会・初期研修

6月：前期研修会

9月～11月：秋のボランティア説明会・初期研修

12月：後期研修会

◆Episode 大学生だからこそ、学校ボランティア

学校でボランティアを始めて、1年が経ちました。実際に授業に参加して、落ち着きのないうちや授業に遅れがちな子を中心にサポートをしています。私がボランティアを行う中で心掛けているのは、先生でも子どもでもない、大学生という視点だからこそできるサポートです。クラス内の雰囲気を見ながら担任の先生と意思疎通を図る一方で、子ども1人1人と対等に向き合い、各々のペースで少しずつ「できる」を増やしていきます。

教員を将来目指す方にとっては、貴重な経験を積むことができますし、現在の教育現場に興味がある方にとっても、子ども達の日々の成長の一端を担えることにやりがいを感じるとともに、自分の成長を実感できると思います。

問い合わせ先 vp.info@roje.or.jp

メンバー数 20人

参加費用 ボランティア保険加入費（300円/年）、活動校までの交通費、給食費（希望者）

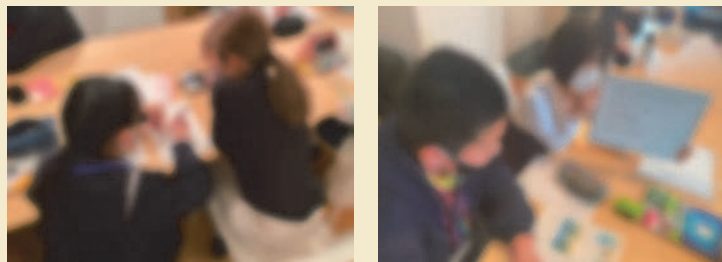
活動時期・頻度 通年（大学の時間割に合わせた活動時間の設定が可能）

週1回（半年間のサイクルで継続可）



Grow Seeds Waseda

教育



私たちは、中学生を対象とした学習支援×居場所づくりのサークルです。「学力格差の是正」「所得減少による教育格差の緩和」「学校・家庭以外の居場所づくり」「大学生の教育的実践の場の創出」「普段できない体験型学習」の実現を目指して、週に2日(各3時間)活動しています。

現在は中学生の定員を10名とし、大学生はシフト制で、1日当たり5~8人が参加しています。教育学部のみならず、様々な分野を専門とする学生が所属しており、大学生同士の交流の場ともなっています。教職志望の方はもちろん、子どもが好きな方も大歓迎です！

◆活動計画

日々の活動を継続的に行っていきます。

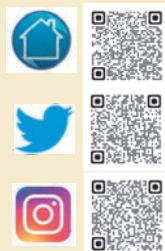
◆Episode “Grow Seeds” 「種」

それはやがて芽を出し、葉をつけ、ぐんぐん成長していきます。そのためには、水や肥料、光などが必要です。時には、立ってられないような激しい雨風に吹かれることや、干からびてしまいそうな強い日差しに晒されることもあるでしょう。しかしそれらを乗り越えたのち、個性豊かな花を咲かせたり、立派な大木になったりするので。

子どもは、そんな「種」と似ています。自身の力で主体的に生きようとするとともに、周りの環境に支えられて成長していきます。私たちはその「種(seeds)」を「育てる(grow)」サークルとして、2021年4月から活動を始めました。

今年は7つの種が立派に成長し、高校という新たな道へと踏み出しました。

問い合わせ先 growseedswaseda@gmail.com
メンバー数 46人
参加費用 なし
活動時期・頻度 毎週水曜日・金曜日(17:00~20:00)、
月1回から参加可能



助走の場・雲

教育・若者支援



私たち、「助走の場・雲」は不登校や引きこもりなどの生きづらさを抱える若者のための居場所支援である「フリースペース」の開放と、子どもを対象とした学習支援の二つを活動の柱としています。フリースペースでは主に雑談やゲームをしたり、外で体を動かしたりなど、何気ない時を過ごしなが、利用者の方が生きづらさを少しでも解消し、次のステップを踏み出せるようお手伝いしています。

しかしながら、“生きづらさ”といっても千差万別です。その答えを探しながらスタッフ、利用者共に助走していく“育ちあいの場”でありたい、それが私たちのモットーです。

◆活動計画

毎週日曜日のフリースペース開放、平日の学習支援

◆Episode

私が「助走の場・雲」で活動を始めた大学一年時、不登校状態であった高校生の少年と出会いました。当時の彼は大学への進学希望を持ちながら、入れる大学はあるのだろうか、入っても上手くやっていけるのだろうか、という不安を抱えていました。実際にオープンキャンパスへ一緒に足を運んでも、大学の雰囲気におおされてすぐに退出してしまう、そんな状態でした。しかしながら、彼の悩みに真摯に向き合い勇気づけていった結果、第一志望の大学に無事合格することができました。

今では大学生活を楽しく語ってくれる彼の笑顔を見るたび、彼と最後まで伴走できてよかったなと実感します。そして同時に自分にとっても「雲」は居場所になっているのだと気付かされました。

問い合わせ先 josounobakumo@gmail.com
メンバー数 15人
参加費用 なし
活動時期・頻度 週1~2回



先生のための教育事典 EDUPEDIA

教育



「日本一多く、教員を支援する教育実践情報プラットフォーム」をビジョンとして掲げ 2008 年に発足。具体的には、教員対象の WEB メディア「先生のための教育事典 EDUPEDIA (<https://edupedia.jp/>)」を運営し、月間の閲覧者数は約 30 万人となっている。運営の主体は早稲田生を含む全国の大学生で、関東のみならず、関西や広島にも支部を持ち、合計メンバー約 100 人で活動。

取材・記事作成・広報・渉外など WEB サイトの運営に関わるほぼ全てのことを、大学生が主体的に行い全国の先生のために日々活動が続けている。

◆活動計画

3 月～4 月新歓

6 月合宿

9 月代わり

取材・記事作成は自分の都合に合わせて

◆Episode

とある先生向けの勉強会に参加したときのこと。より良い授業を作り、子どもの学びを広げるために、忙しい仕事の合間を縫って多くの先生が集まっていた。プロとして日々子どもたちと向き合う先生方の発言には重みがあり、こちらは学ばせていただく一方でした。それでも EDUPEDIA の取り組みをご紹介しますと「よく使ってるよ、ありがとう！」「素敵な活動だね！」と励ましの言葉をかけてくださいました。

大学生の自分にできることはそう多くはない。けれど、先生のために、そしてその先にいる何千、何万もの子どもたちのために、自分の足でより良い教育の手がかりを集めていかねばならない。その決意を再び新たにした日でした。

問い合わせ先 edupedia.info@roje.or.jp
メンバー数 約 100 人
参加費用 年会費 6,000 円
活動時期・頻度 2 週に 1 回、土曜にミーティング



つぼみプロジェクト

教育・復興支援



私たちは、東日本大震災で被害を受けた福島県南相馬市の子どもたちを対象としてキャリア教育を行っています。南相馬市では、震災の影響による失業や人口減少などによって、多様な働く大人を見られず、子どもたちが将来を描きにくいことが課題となっています。私たちは、そんな子どもたちが将来の可能性を広げるお手伝いをしている団体です。

子どもたちを東京に呼んで、実際にいろんな企業に行ったり、逆に福島までプログラムをしに行ったりと様々な活動を行っています！子どもだけでなく大学生も成長できる、そんなつぼみでみなさんを待っています！

◆活動計画

4 月：新歓

5 月：サムライフェス参加(南相馬市内で行われる高校生主体の町おこしイベント)

キックオフ (8 月のスタディーツアーにむけた企画作り開始)

7 月：つぼみ合宿 (プロジェクト内の仲を深めるための合宿@未定)

8 月：東京スタディーツアー (南相馬市の子どもたちを東京に招待する 2 泊 3 日のキャリア教育ワークショップ@東京)

9 月：文集づくり (スタディーツアーの振り返り)

1 月：学習支援 (冬休みに南相馬市の公民館で子どもたちの学習サポート@福島)

3 月：イベント (福島の小・中学校で子どもたちと交流する@福島)

◆Episode 「きっかけ」

みなさんの夢、そしてその夢を持ったきっかけはなんですか？きっかけが必ずあるはず。子どもの頃の社会科見学やお仕事体験、身近な働く大人など、様々な出来事が自分の将来を考えるきっかけになっていると思います。私自身も、高校の先生やテーマパークで出会ったキャストさんなど、これまでたくさんの人に「憧れ」や「きっかけ」を与えてもらいました。「だから今度は自分自身が誰かのきっかけになりたい！誰かにきっかけを与えたい！」そう思い、始めたのがつぼみプロジェクトでした。

問い合わせ先 tsubomi.info@roje.or.jp
メンバー数 約 10 人
参加費用 年会費 3,000 円
活動時期・頻度 週 1 回、日曜日 16～19 時ミーティング



NPO 法人 ROJE

教育



NPO 法人 ROJE は全国 2 箇所（関東・関西）に拠点を置き、「教育で未来をつくる」を行動理念として活動している学生主体の教育 NPO です。早稲田だけでなく、東大、お茶大、学芸大、ICU など様々な大学・学部の学生が集まって活動をしています。「教育」という大きなつながりのなかで、それぞれ異なる興味分野を持つ仲間がいることが魅力の一つです。

活動はプロジェクトに分かれ、小中高の学校現場でのボランティア活動/教員向け WEB サービス運営/キャリア・防災教育の普及/教育イベント企画/ピアサポートの 5 領域から教育課題の解決と価値の創造に挑み続けています。

◆活動計画

3～4 月：春新歓

6 月：入会式

9 月：東西合宿

10～11 月：秋新歓

12 月：年次集会（今年度の時期は未定）

その他の活動はそれぞれのプロジェクトによってさまざまです。

◆Episode 教育でつながる仲間と語る

ROJE は大学・学部・地域を超えて様々な学生が集まって活動をしています。そのため、教育をみる視点や課題意識は様々であり、教育学部以外の学生も多く所属しています。

ROJE に入ってきたきっかけも「ボランティアがしたい」「Web 運営に興味がある」「イベントを企画してみたい」あるいは「教育でつながる仲間がほしい」など、十人十色です。各プロジェクトで領域に特化した活動を行えるだけでなく、領域の垣根を超えての交流や、官公庁・教員・民間企業・NPO など活躍する OB・OG の方々と繋がれることも魅力的だと思います。

問い合わせ先 roje.info@roje.or.jp

メンバー数 約 150 人

参加費用 6,000 円(会費 3,000 円/寄付金 3,000 円)

活動時期・頻度 プロジェクトによる

詳細は SNS・HP・説明会にて！



早稲田大学 BAM 部

地域交流・環境・農業



BAM 部は早稲田大学のメンバーを中心に活動を行う、地方創生インカレサークルです。

現在は地方で大きな社会課題となっている「放置竹林問題」に対処するため、竹林整備を学生の力でやり、伐採した竹の利活用を通して持続可能なサイクルで放置竹林問題の解決を目指しています。

今後は竹を利用した商品の開発やマーケティング、子どもたちへ竹の工作教室を通じた環境教育にも力を入れたいと考えています。また、放置竹林問題の他にも空き家、過疎化、農業に関する問題など地方の様々な課題にも活動の幅を広げたいと考えています。

◆活動計画

4,5 月：新歓、たけのこパーティ、竹林伐採、直売所出店

6,7 月：竹林伐採

8,9 月：直売所出店

10,11 月：竹林伐採、直売所出店、商品開発

12,1 月：竹林伐採、竹製品制作

2,3 月：竹林伐採、直売所出店

◆Episode 活動を通じて放置竹林とその深刻さを知る

私が地方に「放置竹林問題」というものが存在することを知ったのは BAM 部の活動がきっかけでした。それまでは地方の問題と言えば高齢化や空き家の問題などしか頭には思い浮かびませんでしたが、実際に地域の方とお話をすると、手入れされなくなってしまう竹が道路、家屋に倒れてきてしまったり、畑や家の敷地内に竹が侵入してくるなど、とても身近なところに竹の被害（竹害）があることが分かりました。そして、竹林整備を行ったときは道行く人からも「ありがとう」「頑張ってるね」と多くの声を頂くことができ、本当に地域のために活動することができているのだなと実感することが出来ました。

問い合わせ先 contact@bamboo-waseda.com

メンバー数 51 人

参加費用 入会費 5,000 円

活動時期・頻度 通年・不定期



フードグローバルプロジェクト

食・国際理解・多文化共生・グローバルシティズンシップ（地球市民性）



私たちは「フードグローバルプロジェクト」、略して「フグプロ」です。グローバルな課題をローカルから解決するため“食から始めるグローバル社会共創～「おいしい！」からつながる世界とわたし”をスローガンに、2021 年秋から活動しています。ここでのローカルとは私たちの手の届く範囲です。

ローカルな課題はやがてグローバルな課題につながっていきます。そこでローカルとグローバル、双方の視点で社会課題を解決することが、私たちの目的です。

◆活動計画

月 1 程度で NGO 見学やインタビュー企画、街歩きなどのイベントを開催。

イベント候補：ビザ申請支援 NGO との交流、行政書士会の無料相談会への参加など！

4～6 月 新入生歓迎ワークショップ

10 月 所沢祭

11 月 早稲田祭、ユースフェスティバル活動報告

2 月 年間総括 & 振り返り合宿

※ ここに記載された内容はあくまで予定です。活動内容については毎年メンバー間で協議の上決定します。

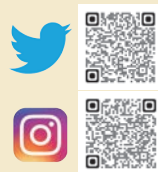
◆Episode 交流を通じて

活動最初の一年となった去年は、早稲田周辺の飲食店で働く在日外国人や民生委員さんへのインタビューを重ね、主に 2 つの気づきを得ました。

一つは、在日外国人が抱える真の悩みは必ずしも私たちが想像するニーズとは一致せず、一人一人違うこと。飲食店で働く外国人の多くは、在日生活の困難を乗り越えた「成功者」であることに気づきました。日本は成功者しか住めない国なのでしょうか？

二つ目は、安心して過去を語れる場所を提供する活動自体が、社会貢献になるということです。以上から、今年度のフグプロは「日本に住みたいけれどビザの申請結果によっては母国に帰らざるを得ない」という事情を抱える在日外国人の支援に焦点をあて、モットーである当事者との対話を軸に、学生が彼らにできる社会貢献とは何かを探っていきます。

問い合わせ先 food.glocal.project@gmail.com
メンバー数 15 人
参加費用 年間 6,000 円程度（主として交通費）
活動時期・頻度 試験前、長期休みを除き基本的に毎週ミーティング（原則として対面）



無国籍ネットワークユース

人権、国際、地域交流



◆活動計画

4 月：新歓活動（説明会、WAVOC 企画参加等） 5 月：親睦会、勉強会

7 月：初回セミナー開催 11 月：早稲田祭出展 そのほか不定期でイベント開催（新型コロナウイルスの感染拡大具合にもよるが、対面での写真展開催や交流会、入国管理局の訪問、物資支援、絵本の読み聞かせ活動なども検討）

◆Episode 私たちにできること

私が無国籍ネットワークユースに入会したのは、ボランティアを経験してみたく、国籍を持たないことで普通の暮らしができない、そんな人たちが居ることにまず驚いたからです。私は自分のパスポートを使って国家間の移動ができ、病院や学校・様々な場面で日本国の助成を受け、気づかない当たり前の支援体制に守られているのだと思いました。

無国籍という事実で困る人がゼロになる世の中でなくとも、国や周りの人の柔軟な理解のため、私たちは学び、当事者に寄り添い、この社会問題を伝えていくことに取り組むのだと考えます。（2021 早稲田企画より）

今自分にできること

ロヒンギャ問題に関心はありましたが自分に何ができるのかを考えることはありませんでした。ロヒンギャ難民として認定された方の講演会では、差別を受けるロヒンギャの人たちは人権を守られず、国民、難民とも認定されない状況に置かれても尚国際社会は目を向けないことを訴えており、その中で彼は「日本も動いて欲しい」と言いました。私たち日本国民が動くことによって居場所を失った人々を救うことができると知りました。

「無国籍」という国際問題に対して今の自分の知識と力でどう問題に立ち向かうか、そして自分にできることはないというマインドセットを捨てて、これから貢献しようと考えています。（12 月 14 日講演会にて）

問い合わせ先 stateless.youth@gmail.com
メンバー数 約 15 人
参加費用 なし
活動時期・頻度 年間を通して月 2 回のミーティング、年数回のイベント





まずはWEBで
募集情報を集めよう！



WAVOC

早稲田大学平山郁夫記念ボランティアセンター